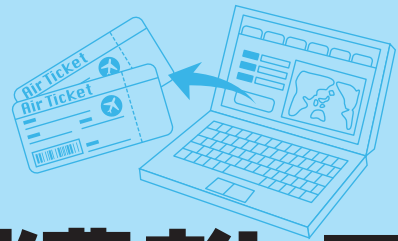


# インターネットで申し込む 手配旅行

# をめぐる 消費者トラブル



特集

1

## 日本人・訪日外国人の 旅行者数の動向

観光庁観光戦略課調査室

昨今の日本の経済情勢や自然災害の発生などにより、日本人\*1の国内旅行や海外旅行、そして訪日外国人\*2の旅行者数は変動しています。どのように推移してきたのか、過去4年間について振り返っていきます。

### 日本人国内旅行者数の推移



日本人の国内旅行者数は、2010年は延べ6億3160万人でしたが、翌年2011年は、東日本大震災(以下、大震災)が発生したこともあり、6億1253万人(前年比3.0%減)まで減少しました(図1)。2012年には、6億1275万人で回復の兆しが表れ、2013年には6億3095万人まで増加しました。2013年の旅行者数がここまで増加したのは、金融緩和、財政出動、成長戦略の「三本の矢」による「アベノミクス」により、株高となり、景気が緩やかに回復しつつある状況であったことが一因として考えられます。また、金融緩和により円安が進行したことで、日本人にとって海外旅行が割高となり、海外旅行から国内旅行へシフトする動きが出てきたことも要因として考えられます。

\*1 日本国内に居住する日本国民。

\*2 国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人のこと。

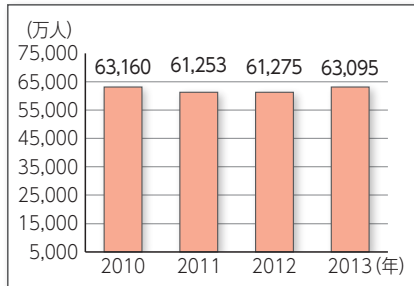


図1 日本人国内旅行者数の推移

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

このような経済情勢のほか、2013年には伊勢神宮の式年遷宮、富士山の世界遺産登録等の旅行需要を創出する出来事があったことも、増加要因として考えられます。

### 日本人宿泊旅行者数の推移



次に、国内旅行を宿泊旅行と日帰り旅行に分けて推移をみていきたいと思います。日本人の宿泊旅行者数は、2010年は延べで3億1753万人でしたが、大震災があった翌年2011年は3億1356万人(前年比1.3%減)まで減少しました(図2)。2012年は、3億1555万人(前年比0.6%増)でわずかに増加し、2013年は3億2042万人(前年比1.5%増)と、震災前の水準を超えるまでに増加しました。

### 日本人日帰り旅行者数の推移



日帰り旅行者数の推移ですが、2010年は延べで3億1406万人でしたが、2011年は2億

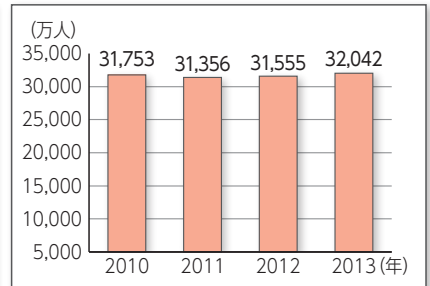


図2 日本人宿泊旅行者数の推移

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

9896万人(前年比4.8%減)まで減少し、2012年は2億9720万人でわずかに減少しました(図3)。そして2013年は、3億1053万人(前年比4.5%増)と震災前の水準近くまで回復しました。

### 訪日外国人旅行者数の推移



日本人だけでなく今や多くの訪日外国人も日本国内を旅行しています。2003年、日本政府はビジットジャパン事業<sup>\*3</sup>を開始しました。当時の訪日外国人旅行者数は521.2万人でしたが、2010年には訪日外国人旅行者数は861.1万人と、当時の過去最高を記録しました(図4)。ところが、2011年は大震災により621.9万人(前年比27.8%減)まで減少しました。2012年には、震災前の水準まで戻らなかったものの835.8万人(前年比34.4%増)まで回復し、そして2013年には1036.4万人(前年比24.0%増)と史上初の年間訪日外国人旅行者数1000万人を達成しました。リーマンショックや、大震災による落ち込みがありましたが、ビジットジャパン事業の開始11年目に、当初の政府目標である年間1000万人を超えたこととなります。この年に1000万人を達成したのは、日本における金融緩和による円安進行の結果、外国人にとって訪日旅行が割安になったことも要因として考えられますが、東アジアやASEAN(東南アジア諸国連合)各国の経済成長による訪日旅行の需要増大、継続して行ってきたビジットジャパン事業、

そして東南アジア諸国に対するビザ要件の緩和も、訪日外国人旅行者数の増加要因として考えられます。

### 日本人海外旅行者数の推移



日本人海外旅行者数は、2010年に延べで1664万人、2011年は1699万人(前年比2.1%増)、そして2012年は1849万人(前年比8.8%増)と増加傾向が続いていました(図5)。これは当時、円高が進行したことにより、日本人にとって海外旅行が割安になったことが一因として考えられます。しかしながら、2013年には傾向が変わり、海外旅行者数は1747万人(前年比5.5%減)まで減少しました。これは、昨今の日中・日韓関係の影響や、円安による買い物も含めた旅行費用の上昇により、海外旅行から国内旅行へシフトする動きが出てきたことが一因として考えられます。

以上のとおり、日本人の国内旅行、海外旅行、そして訪日外国人の旅行者数の推移を振り返ってきました。過去4年間の傾向としては、日本人の国内旅行者数と訪日外国人の旅行者数は、大震災のあった2011年には前年に比べ減少しましたが、その後、いずれの数値も震災前の水準への回復傾向を示し、あるいは震災前の水準を上回りました。一方、日本人の海外旅行者数については、大震災の発生にかかわらず2012年まで増加傾向を示しましたが、2013年には傾向が反転し、前年に比べ減少しました。

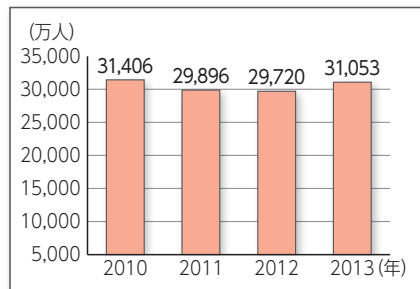


図3 日本人日帰り旅行者数の推移

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

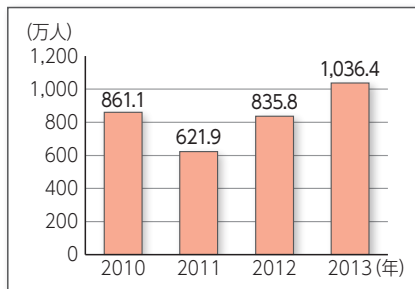


図4 訪日外国人旅行者数の推移

出典：日本政府観光局(JNTO)資料をもとに観光庁作成

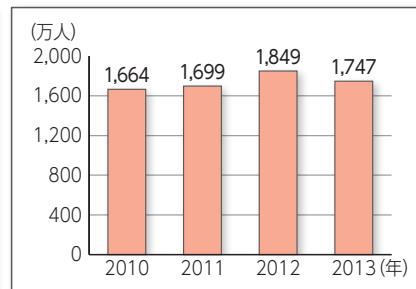


図5 日本人海外旅行者数の推移

出典：法務省資料をもとに観光庁作成

\*3 訪日外国人旅行者の増加を目的とした訪日プロモーション事業のこと。<http://www.mlit.go.jp/kankochou/shisaku/kokusai/vjc.html>